

# WE しもやま LOVE



## 下山地域会議が「豊田市森づくり基本計画」について答申

地域会議は、地域の声を集約し、地域課題の解決に向けて行政に提言するほか、市長からの諮問（質問）に対して答申（地域としての回答、意見）する役割を担っています。令和5年度上半期は、森林課から下山地域会議に対し「第4次豊田市森づくり基本計画」について諮問があり、9月に答申をまとめましたので、その内容を紹介します。

なお、企画課から「第9次豊田市総合計画」について9月に諮問があり、来年1月に答申する予定です。あなたの自治区の地域会議委員まで貴重なご意見をお寄せください。

### 諮問

（市からの質問）

『山村地域の森林が地域で適正に管理されるための有効な取組』

### 答申

（地域の意見、回答）

- ①森林所有者の山離れへの対応策として、森林所有者が森を見て学ぶ機会を作ることや森林の価値を分かりやすくPRすること、相続や税金、売買、管理等をワンストップで相談できる森の相談窓口の開設を検討してください。
- ②地域全体での森林の維持管理の方策として、管理困難所有者に代わって、市または事業者が森林を管理する仕組みを検討してください。



▲森林課協議のグループリーダーを務めた苅安委員

秋も深まり、椎茸や栗など山の恵みを味わえる季節になりました。恵みの元であると同時に、その維持管理の難しさはたくさんの森林所有者の悩みの元となっています。これは下山だけの話ではなく日本全体の課題です。非常に難しい課題であり、まだ誰にも答えが分かりません。

下山地域会議では地域の森林管理、さらにはまちづくりがよい方向に行くことを期待して答申しました。是非皆さんも答申書をご一読ください。



▲太田市長と下山地域会議（9月会議にて）



▲諮問・答申の詳細は、市HP



## 安心安全なまちづくり 交通検問と交通安全立哨を実施

7月の「夏の交通安全県民運動」の一環として、7月12日（水）に大沼町根崎の交差点で交通検問を行い、信号待ちの車両に啓発品の配布と事故防止のメッセージを届けました。また、9月21日（木）には「秋の全国交通安全運動」の初日に同交差点で交通安全立哨を行い、通行するドライバーに事故防止、交通違反抑止に繋げました。



下山の降りを受け継ごう



伝統・文化

## しもやま民話の生まれた里巡りで地域の魅力を再発見！

9月28日（木）、地元作家なかむらひろこさんを講師に招き「しもやま民話の生まれた里巡り-和合を歩く-」を開催しました。

当日は天候に恵まれ、地区内外から19名が参加し、和合町のいわれや朝日橋、笙愉月（しょうゆげつ。新羅三郎義光がお月見した岩）、子育て地藏など和合町にまつわる民話ゆかりの地を巡り、参加者たちは解説を聞きながら熱心にメモを取っていました。

終了後のアンケートでは「住んでいても知らない事だらけで、素敵なお話があることを知れてよかった」「昔の人の思いが詰まった場所が地域にたくさんあることを知った。大事にしていきたい」などの感想がありました。

11月23日（木）には、熊野神社や送り神など羽布町にまつわる民話を巡るイベントを開催します。ぜひご参加ください。

皆さんの家の近くにも民話や昔話がたくさん残っているので、電子図書館の「しもやまの民話」などを使って探してみてください。



▲申込みはこちら



▲大聖寺  
イチヨウのオスとメスの見分け方を学ぶ様子



▲名号塔、子育て地藏、常夜灯  
大きな名号塔は、竹を水で凍らせて運んだ



▲参加者全員で記念撮影

子どもと一緒に  
みんなで学ぼう



教育

## 巴ヶ丘小学校で3校交流授業を開催

9月29日（金）に巴ヶ丘小学校が大沼・花山小学校の特別支援学級の児童を招いて、交流授業を行いました。

「紙コップでまちをつくらう！」の授業では、学年別に紙コップを使って高い塔や長い壁など、皆で協力して1つの作品を作りました。愛知建築士会の専門家の方々が、作品への講評を行い、児童たちは聞き入っていました。

さらに、3校の特別支援学級の児童は、手づくり工房山遊里でソーセージ作りを体験しました。ソーセージの作り方をお店の方々に教えてもらい、慣れるまでは苦戦しながらも、無事ソーセージを作ることができました。



▲「紙コップでまちをつくらう！」授業



▲手づくり工房山遊里でソーセージ作り



## しもやまラリーよってらっ祭みてらっ祭がスタートしました！

下山地区におけるラリー応援月間「しもやまラリーよってらっ祭（しゃい）みてらっ祭（しゃい）」がいよいよスタートしました！（応援期間は、10月8日（日）から12月3日（日）まで）

10月8日（日）に開催された下山地区体育大会では、応援月間のオープニングセレモニーとして、ラリードライバー三枝聖弥選手によるデモ走行を行い、参加者は迫力のある走りを見近で体感しました。また、しもやまラリー実行委員会のラリーPRブースでは、WRC参戦中の勝田貴元選手への応援フラッグの寄せ書きコーナーを設け、多くの方々に応援メッセージを書いてもらいました。住民の想いが寄せられたフラッグは、翌日の愛知県主催のラリーイベントにて、勝田貴元選手ご本人に直接届けることができました！勝田選手はとても喜んでくれました。

応援期間中は、下山地区の協力店舗で、インスタキャンペーンを行っています。Instagramでハッシュタグ「[#ラリーグルしもやま2023](#)」をつけてグルメ写真を投稿していただくと、抽選で10名様に景品を贈呈しますので是非ご参加ください♪

この応援月間は、ラリーを知らない人、ご家族、お友達と楽しめるイベントが盛りだくさんです。今年の秋は、みんなでラリーを応援して「もっとわくわくするしもやま」にしましょう！



▲市長も応援メッセージを書きました



▲みんなの想いを勝田選手に届けました！



▲イベント詳細はこちらから



▲迫力あるデモ走行の様子



▲みんなで記念撮影（体育大会）



## 遊休農地を活用した関係人口を増やす取組にチャレンジ！



▲稲をもって記念撮影

9月23日（土）、羽布自治区（羽布まちづくり委員会）が稲刈り体験を実施しました。この取組は、地区内外の人たちと関わりながら、遊休農地を田んぼとして再生することを目的に行われました。当日は、地区外から10名が参加し、地元農家に鎌やコンバインを使った稲刈りを教わり、秋の収穫を楽しみました。参加者からは、「体験をしてみて、食のありがたみを改めて実感した」などの感想が聞かれました。

## 下山の自然あれこれ「⑤クロモジ茶、シロモジ茶」

今回は、下山の森に生えている木からお茶を作ろう、という話です。

下山地区の里山には、クロモジ、シロモジという低木が多くあります。これらはクスノキ科の仲間で、このグループはクスノキに代表されるように葉や枝に香り成分を含み、葉をちぎると特有の香りがする樹種が多いです。中でも、香りの最高峰と言われているのがクロモジです。

クロモジは高さ2～5mの落葉低木で、スギ林の下層のやや湿った場所に好んで生えます。葉は長楕円形で枝先に集まって付きます（右上の写真）。若枝の表面に黒い藻類が付着し、それを黒い文字に見立てたことから「黒文字（クロモジ）」と名前付けられたと言われています。

お茶の作り方は、クロモジの枝先30～40cmほどを採取し、葉を取り除いて、枝をきれいに水洗いします。その枝を5～7日程度天日に干して乾燥させた後、ヤカンのお湯に入れて、10分ほど煮出すとクロモジ茶は完成。同様の方法で、シロモジ茶を作ることもできます。

出来上がったばかりのクロモジ茶は薄紅色（右下の写真）で、ゴクリと飲むと、ほのかに甘く、品のある香りが口の中に広がります。すっきりした味で美味しい！ 下の連載コラムの森ヨガ体験会でも、参加者の方々に試飲してもらい、好評を得ました。ぜひ、お試しあれ。



クロモジの葉っぱ（上）とクロモジ茶の煮出し（右）



▲シロモジ茶（左）、クロモジ茶（右）



### 連載コラム「せつつが行く！ Vol.5」 【三河湖の森で心と体のリフレッシュ！】



9月30日（土）、前夜の雨が嘘のような快晴の中「森ヨガ体験会in三河湖園地」に市内外から多くの方にご参加いただきました。

まず、ガイドと一緒に三河湖園地の森を歩きました。途中、木の香りを楽しみ、流れ込む水の冷たさに歓声をあげたりしました。ヤブムラサキの葉を手にとって頬に当てると、参加者から「産毛の様な肌触り！」と声があがるなど、三河湖の自然を五感を使って感じ取りました。

森を抜け、ヨガ会場の「見晴らしテラス」に到着すると、目の前に広がる三河湖の絶景と吹き抜ける風を受け、ひと休み。

ここで地区内在住のヨガ講師大島亜美さんにバトンタッチ。やわらかい掛け声と笑顔が、徐々に参加された方の心も体もリラックスさせていきました。最後に仰向けになり呼吸を落ち着かせていると、さわやかなしもやまの風とその風になびくウィンドウチャイムの音色に、参加者の意識が森と大地に溶け込んでいく様に感じました。参加者は「青空と風が心地よかった。心も体もすっきりできました」と話していました。

今回のイベントもしもやまの皆さんのバイタリティを目の当たりにしました。大島さん、ハーブティーを振る舞った香恋の里の皆さん、サポート役のビレファンの浜島さん。ありがとうございました。



▲五感で自然を感じながらの森歩き



▲三河湖を眺めながらのヨガ体験



▲リラックスした表情の参加者の皆さん



## 地域の思いを集めて、道路整備の要望を行いました

下山地域まちづくり推進協議会の基盤整備部会と地域住民が9月27日（水）に、愛知県、豊田市地域建設課と道路の整備について意見交換を行いました。市道については、整備を要望している道路の現地視察を行い、地域の声を届けました。

下山地区では、令和3年度に道路整備に関して、愛知県などと交わした「下山地域まちづくり推進協議会との覚書（平成24年2月）」に基づき、新たに道路の拡幅、改良などの要望書を愛知県と豊田市に提出しました。

今後も着実な道路整備が行われるように、意見交換や現地確認を実施していきます。



▲現地視察の様子



## しもやまの今がわかる「自治区プラン報告会」を開催します

しもやまスマイルプラン（令和3年3月策定）が始まり、3年目を迎えました。これまでの取組や地域が抱える課題などを共有し、今後の活動に生かすため、自治区プラン報告会を開催します。

入退出自由となっておりますので、ぜひご参加ください。

日時：12月1日（金）午後6時30分から午後9時

会場：下山基幹集落センター 多目的ホール

内容：しもやまスマイルプランの取組状況などの報告



### 【しもやまスマイルプランって？】

下山地域まちづくり推進協議会を中心に、10年後の将来像「子どもの声が聞こえ、笑顔で暮らせるまちしもやま」を目指して、自治区、関係団体が定めた住民のための行動計画。

「WE LOVE しもやま」を合言葉に、7つの自治区と11の分野に分かれて、地域全体でしもやまのまちづくりを進めています。



### 下山地区データ

人口  
4,032人  
(-119)

男性  
2,002人  
(-58)

女性  
2,030人  
(-61)

(10月1日現在)  
※（ ）は前年同月比  
世帯数  
1,641世帯  
(-24)

### 発行者情報

編集・発行

豊田市役所下山支所（〒444-3242 愛知県豊田市大沼町越田和37-1）  
毎月15日発行

お問い合わせ

TEL 0565-90-2111 FAX 0565-90-3344  
MAIL shimoyama-shisho@city.toyota.aichi.jp

地域記者を募集中！あなたの伝えたい地域情報を掲載しませんか！





〔 社協下山支所だより 〕

# まどいの丘



住所：豊田市神殿町中切7番地2

TEL：0565-90-4005 / FAX：0565-90-2419 / MAIL：shimoyama@toyota-shakyo.jp

身体も心も元気で暮らそう



## 【フラメンコ鑑賞&デイサービス参観日】を開催しました！



10月14日（土）にまどいの丘デイサービスセンターの参観日を開催しました。スペイン舞踊のマリポッサさんにボランティアで素敵な踊りを披露してもらい、地域のみなさんも交えてタンバリンや鈴を鳴らし『オレ!!』『オラ!!』の掛け声を上げて楽しいひと時を過ごしました。

当日は日頃“まどいのじ～ば～”の活動で、地域貢献に頑張っている様子を展示して、みなさんに利用者さんが頑張っている様子を見てもらいました。



まどいの丘デイサービスセンターでは『歩行訓練ロボット』を使って毎日、広い館内を歩行訓練しています。個々の状態に合わせて、高さや負荷の調節・目標設定ができ、歩行状態の評価もしてくれ、歩行の癖を直し体幹も鍛えられます。ロボットからは軽快な音楽が流れ、その都度、励ましや褒める声掛けもしてくれます。

介護予防のために利用者様の「自分で歩きたい」という思いを支援します。ご興味のある方は見学できますので、ご連絡お待ちしております。



## ご自宅に余っているものありませんか？

下記の物がありましたらご利用者さんの作業等で活用しますのでご協力ください

- タオル（古くても新しくても大丈夫です）
- 使用済み切手（封筒・ハガキごとお持ちください）
- アクリル毛糸
- 牛乳パック（洗って乾かしてお持ちください）

問合せ：豊田市社会福祉協議会下山支所 TEL90-4005



## 講座報告

## お知らせ

### スマイル☆キッズ③~親子でリトミック~

10月11日(水) 参加親子 8組

ピアノ講師の柴田広子先生を講師にお迎えし、親子でリトミックを楽しみました。リズムに合わせて体を動かし、会場は可愛らしい笑顔でいっぱいになりました。後半は、かれんママの司会で情報交換会を行いました。



#### ♪参加者の声♪

😊音楽に合わせて親子で楽しく体を動かすことが出来て良かった。😊リトミックに興味があったので楽しかった。😊色々な曲や道具を使って飽きることなく楽しめた。



### 令和6年下山地区二十歳のつどい

日 時:令和6年1月7日(日) 午前11時から  
(受付10時15分~)

会 場:下山基幹集落センター

対 象:平成15年4月2日~  
平成16年4月1日生まれの方

※詳細は広報とよた11月号に掲載  
または豊田市のホームページをご覧ください。

### 学習室の無料開放!

学生の方を対象に、利用のない部屋を学習室として無料開放しています。ご利用の方は窓口にお申し出ください。

利用時間 午前9時~午後8時  
(中学生以下は午後5時まで)



### 2階 視聴覚室

### グランドピアノ人気です!

視聴覚室のグランドピアノが好評です。個人の部屋利用者さんが増加中です!皆さんもピアノにふれてみませんか♪



あらステキ!

### 視聴覚室が茶室に変身!

豊栄会さんがお茶会を開催しました。視聴覚室が「和」の空間に早がわり!



### ラリー展示コーナー紹介

WRCラリージャパン開催に合わせて『下山ラリー盛り上げ隊』として廊下でラリー展示を行っています。ぜひ、ご覧ください!



こちらもご覧ください!

しもやまラリー実行委員会の

『ラリーミニカー展示』

11月29日(水)までロビーにて

### 12月のロビー展示

12月2日(土)~12月26日(火)  
次井みな子さん(和布小物)

12月3日(日)~12月21日(木)  
小川喜月さん(フックドラグ)



今も届らぬたうた十五歳の羽衣神子の海流やがたの頃のあ

# いぼし上げ (取り入れのお祝い)



昔々のお米の取り入れは刈り取った稲束を田んぼの稲加木に干してから干した稲束を千歯こき(いぼし)で何度もしごいて粉の取り入れをしとったんだぞ。ほりゆあ手間だた又にならんと全部の取り入れは終りらんかたぞ。年によちやあ稲架の稲に雪が乗ることもあったんだぞ。頃はお米と物々交換は当たり前。お米は何より大事なもので取り入れ



が全部終わるのは百姓にとちやあ「番めでたいお祝いの日だったよ。山里の家々では取り入れが全部すむと「いぼし上げ」の祝いをやった。取り入れの日はその水ぞ本なので家ごとにする祝いだよ。田んぼ仕事に使った道具「いぼし、鎌や鎌をき水に洗って座敷の上座へ据えてな。出来たばかりの新米のぼた餅、お菓、子、酒や魚をお供えて近所の世話



絵くまなまからうん

になった人を招いて宴会をさせたぞ。遠くの峠にたつた人には重箱にあるお米をばらばらに分けて、めでたきもも手合せてお祝いした。そうそう取り入れが終わる頃になると行商の忠兵衛さんがお米を分けて、奥山まで上がっていられたぞ。あ、いぼし上げの塩サンマをガンガンいぼしに背負って売りに来たもんだよ。



いつもは一人半分かその頃の塩サンマが「いぼし上げ」の祝いの膳には子どもも一人前の「用」まるさら乗っ取るのがうしくいぼし上げの日には待ち遠しかたぞん。お米がどんなに大切なものか身にしてみ分かった頃の行事です。